

編集後記

本研究科設立3年を経て、ここに『多元文化』創刊号刊行の運びとなった。創刊号には、院生より16篇、教官より2篇の論文の投稿があったが、慎重な審査の結果、内5篇が不採用となり、計13篇の論文を掲載するに至った。審査は、編集委員が各論文の関連分野の先生に依頼し、複数の先生に評価とコメントをいただくという形式で行い、本専攻のみならず、他専攻、更には他研究科も含め合計25名の先生にご協力を仰いだ。先生方には、ご多忙中にもかかわらず、厳しくも丁寧なコメントを数多く頂き、採用不採用を問わず、執筆者にとって有益かつ貴重な学習の機会となった。この場を借りてご協力頂いた諸先生方に厚くお礼申し上げたい。

発刊にあたっては、版下作成までを各自の責任で行ったが、編集委員の力量不足と執筆者にとって慣れない作業であるが故に、論文執筆にも負けず劣らずの努力を要するものとなった。パソコンとの格闘の日々が続き、幾度もの試行錯誤を繰り返してようやく完成にこぎつけることができたが、多々不十分な点があることは否めない。反省点は次号からの課題ということでご容赦頂きたい。また表紙は本専攻院生の手によるデザインであり、まさに内外の多くの人の力によって本号が生まれたと言える。編集委員一同、ご協力を頂いた皆様に心より感謝の意を表する。

すでに本専攻とゆかりのある諸先生方からは刊行を慶賀するお言葉を頂戴し、また本専攻に学ぶ120名の院生から年2回の刊行を望む声も上がっている。さらに読者の便に供するため本論集のホームページも鋭意作成中である。編集委員として今後の発展に寄与し得れば幸いである。今後とも諸先生、諸兄姉の忌憚のないご批判・ご指導を賜りたい。

(R. K.)